

○モバイルファーマシーの調剤体験・見学会の様子と生徒の感想



☆生徒から講師へのお礼と感想

3年 S.R さん

先日のモバイルファーマシーでは有意義な体験をさせて頂くことが出来ました。本当にありがとうございました。

昨年はモバイルファーマシーの1号を見学させて頂いたのですが、今回は2号ということで新たな設備を見ることが出来ました。新しくクリーンベンチが増えて高齢者が抗がん剤を服薬しやすくなったことや、ディーゼルエンジンとなり災害地に必要不可欠な電力供給を担えるようになったことを知りました。モバイルファーマシーは、災害時でもただ薬を渡すだけの施設に留まることなく、それぞれの患者さんを思い、周囲に配慮した仕様になっていることにとても感銘を受けました。点滴バックの見学では、アンプルが褐色瓶である理由やバイアルの中に溶液を入れる時は注射器を押さずに引きながら入れること、点滴バックの内圧が高くなりすぎないように最後には空気を抜くことを学びました。圧力や薬品の保存方法など、高校で学んだ知識が教科という堺を越えて活きていると感じ、今学習している科目の大切さを改めて感じました。また、今回私たちに点滴バックの作成を教えてくださいました先輩から、本来は今作っている倍の速さで作る必要があると教わりました。薬剤師はただ薬を処方するだけでなく、体調の悪い患者さんに対し迅速かつ漏れのない対応をとることが求められる仕事だと思いました。私も薬学部に入學出来たら、手法だけでなく質や手早さも意識したいと思います。モバイルファーマシー見学の最後には、薬包紙を用いた昔の粉薬のつつみ方や錠剤の一包化を体験させて頂きました。錠剤は元々、それぞれの薬の性質に合った(光で分解されにくい、湿度で薬を悪くしない)シートで梱包されています。しかし、一包化することでシートが本来持っていた役割がなくなってしまうため、薬剤師として患者さんに薬を渡す際に説明や工夫が必要であることを学びました。

今回のモバイルファーマシー見学で、将来薬剤師を目指すにあたって今後につながるお話や体験をさせて頂けたと感じています。この体験を胸にこれから受験に向けより一層励んで参りたいと思います。この度は貴重な体験をさせて頂き、誠にありがとうございました。

2年 F.Jさん

本日は、モバイルファーマシー2号機を見せていただきありがとうございました。1号機で課題としてあげられた、「電源の確保が難しい」という課題を解決するために、2号機には新たに発電機やリチウムイオンバッテリーが追加されました。また、1分間で43包の高速分包が可能な自動分包機、無菌室の空間を作ることのできる小型のクリーンベンチなど、薬局で見たことがあるような多くの薬があり、本当に薬局が動いてきているような感じがしました。東日本大震災の際に、薬剤師はいて薬もあるのに、電気が通っていない状況や、病院や薬局が使えない状態になってしまい、活動が制限されてしまったためにモバイルファーマシーが作られたと伺いました。モバイルファーマシーは、電気の供給や無線電話、災害時での薬学科大学生に対するの災害実習も可能であると伺い、物理的な人の支えだけでなく、心の面でも支えているのだと思いました。



地域の病院や薬局などの存在は不可欠となっており、地域の薬局の崩壊は、薬を使用している人達の生活の崩壊につながるといわれているそうです。薬剤師は、そのことをしっかりと頭に入れ責任を果たさなければいけないと思いました。災害時に拠点薬局となる薬局を作ることや、医療環境をしっかりと整えていくことが患者さんの心の支えにもなるので、とても大切だと思いました。医薬技術が発展して、薬剤師の活動が広がっていく中で、モバイルファーマシーはとても不可欠な存在になっていくのだと思いました。

本日はありがとうございました。またの機会がありましたらよろしくお願い致します。

1年 T.Kさん

本日はお忙しい中、ご説明くださりありがとうございました。僕は今、文理選択でとても悩み困っていました。しかし、今回の話を聞いて、薬学部がどういうものなのか、薬剤師がどのような職業なのか知ることができました。

今回のお話で特に関心を持ったのは、薬剤師にもコミュニケーション能力が必要だということです。僕は薬剤師は薬を作るだけの仕事だと思っていました。薬剤師は、患者に薬などの説明をなるべく専門用語を使わずにしなければならないので、患者と向き合う仕事でもあると聞き「確かにそうだな」と思いました。さらに、薬剤師がどれだけ大切な存在なのか、改めて実感することができました。車の中には、300から500種類の薬品を管理し、車の発電システムを使って、被災地で電気を使えるようにするといった、機能に感銘を受けました。モバイルファーマシーのような自立した薬局があれば、被災地にいる人の安心や人命救助につながると思いました。そして、薬剤師が行うことが自分が思っていたよりもたくさんあることにも気づかされました。薬品の管理や薬を作ること、薬についての情報提供や相談をしたり避難所の衛生管理をしたりなど、ここまでたくさんのことを行っているとは思いませんでした。

今回のお話を通して、薬剤師と言う職業を知ることができました。実際に薬が包装されるところやモバイルファーマシーの中の様々な機械や薬を見ることができ、とても良い経験になりました。この経験を今後の進路にも活かしていきたいと思います。今回はお忙しい中、このような機会をくださり本当にありがとうございました。

